

# 大川小の教訓、報告書まとまる 「想定超える備えを」

2020年12月15日 5時00分

東日本大震災の津波で児童74人が死亡・行方不明になった宮城県の石巻市立大川小学校の事故を教訓とするため、県が設けた有識者会議が、想定を超える災害に備えた防災マニュアルを整備することなどを盛り込んだ報告書をまとめた。県教育委員会が14日、県議会の委員会で明らかにした。

報告書は具体的な取り組みとして、教職員が不測の事態に対応できる力を身につけるために体験型の研修を行うことや、ハザードマップの想定を超える災害に備え、学校が複数の避難場所や避難経路を設定し訓練することを求めた。このほか、児童や生徒が自分で避難計画や地域の防災マップを作成することなども提言した。（窪小谷菜月）